

国際

ブログに書く

引用ブログ

ツイート 64

いいね!

10

共有

印刷

変化した中国の貿易構造 抑えられてきた通常貿易での輸入へのシフト

2013.2.21 08:18 (1/2ページ)

中国の貿易構造に根本的な変化が起きている一つは輸出の主役を長らく務めてきた加工貿易が、ついに通常貿易にその座を追われるようとしていることだ。(フジサンケイビジネスアイ)

中国が貿易形態別のデータを発表するようになったのは1995年である。2010年まで加工貿易による輸出の割合は絶えず通常貿易による輸出の割合を上回っていたので、中国貿易は「加工輸出型」だといわれてきた。

実際、経済発展が遅れていた中国が1980年代に打ち出した輸出振興策に「大進大出」があり、その内容は「原材料を大いに輸入し、それらを加工して大いに輸出する」というものであった。

その結果、加工貿易の発展に拍車がかかり、それが経済全体の発展を牽引(けんいん)した。しかし、加工貿易による輸出の割合が11年、初めて通常貿易による輸出の割合を下回った。

加工貿易は海外から提供された原材料を委託側の指示に従って加工生産し輸出するものである。これに対して、通常貿易は生産企業自身による輸出もあれば、海外からの受託生産もあるが、自らが主体となって原材料の調達と加工生産を行う点が特徴だ。つまり、通常貿易の増大は現地での原材料の生産や供給能力、現地企業による原材料の調達や加工、そして製品生産能力の向上を示すもので、中国の産業集積度を表すデータだ。

< 前のページ

1

2

> 次のページ

関連ニュース

- 中国商務省が「貿易秩序乱す」と米制裁に抗議
- 中国の貿易振興機構、台北に事務所開設
- 中国政府、海洋経済の5カ年計画承認 周辺国と摩擦必至
- 中国、改革推進を決定 中央経済工作会議
- 対照際立つ中国の新指導者「中華民族主義」掲げる習近平氏、経済改革」決意示す…

国際

[ブログに書く](#) [引用ブログ](#) [ブログに書く](#) [引用ブログ](#) [ブログに書く](#) [引用ブログ](#)
[Tweet](#) 64

変化した中国の貿易構造 抑えられてきた通常貿易での輸入へのシフト

2013.2.21 08:18 (2/2ページ)

だが、もう一つ、もっと興味深いデータがある。加工貿易による輸出を超えて輸出の主役の座に着いたのは通常貿易による輸出だが、その金額をさらに超えたのは実は通常貿易による輸入だ。

通常貿易による輸入は当局の思惑によって輸出よりも抑えられてきた。だが、貿易の相対的な自由化や経済発展による消費者の購買力の向上、特に人民元高がもたらす海外製品の割安感から輸入が増え続けてきた。その結果、10年から通常貿易による輸入は各貿易形態の中で最も大きな割合を占めるようになった。

通常貿易による輸入の増大は国内の消費市場の拡大とともに、貿易自由度の増大をも意味する。中国が「加工輸出」から「消費輸入」に踏み出そうとする中で、日本を含む海外製品の中国向けの輸出もいままでになく容易になってきた。

しかし、「日本企業」と名乗るだけでビジネスの障害となる場合があるのが残念だ。理解ある現地の販売代理関係者との連携が一層重要になってきた。(甲南大学教授・杉田俊明)

関連ニュース

- 中国商務省が「貿易秩序乱す」と米制裁に抗議
- 中国の貿易振興機構、台北に事務所開設
- 中国政府、海洋経済の5カ年計画承認 周辺国と摩擦必至
- 中国、改革推進を決定 中央経済工作会議
- 対照際立つ中国の新指導者「中華民族主義」掲げる習近平氏、経済改革」決意示す...

国際のトピックス

もっと読む